

2020年度岡山大学病院で「ジェンダーに関する学生の意識調査」 アンケートにご協力いただいた学生の保護者の方へ 「ジェンダーに関する学生の意識調査」へのご協力のお願い

研究機関名 岡山大学医歯薬学総合研究科 精神神経病態学教室
研究機関の長 山田了士
研究責任者 岡山大学病院ジェンダーセンター 講師 松本洋輔

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

性別に違和感を持つ方に対して、身体的な治療や社会的に本人が望む性別として受け入れることで、その苦痛や不具合を軽減する対応が行われています。また、それに関する知識もメディアや学校教育の場で広められつつあります。性に関する情報をどのくらい持っているかと、身体的治療や社会的な対応をどの程度心情的に受け入れられるかの間に関係があるかないかを調べ、情報や教育のもたらす影響について調べるのが今回の調査の目標です。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

性別に違和感を持つ方に対して行われる身体的な治療や本人が望む性別として受け入れる社会の仕組みを、一般の人に受け入れてもらうとき、どのような知識や情報があればスムーズなのかがわかり、今後の啓発活動の参考になる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020年4月から2021年3月31日までに岡山大学保健管理センターまたは教育学部の大守伊織教授の担当する授業においてこのアンケート調査に協力していただいた岡山大学の学生約200名。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2023年3月31日

3) 研究方法

岡山大学の学生の方の中で2020年度中に担当教員の協力の得られた保健、医療、教育関連の講義を受ける方に10分程度の時間でWEBアンケートに回答していただきます。その際、アンケート調査への協力ないし拒否をWEB上での質問に回答していただくことで確認します。

研究対象者が未成年の方の場合、この文書（オプトアウト文書と言います）をお読みになり、保護者が研究への参加を拒否することができます。後述の連絡先までご連絡ください。

4) 使用する情報

WEBアンケートに回答された情報を用います。アンケート調査実施から6ヶ月後には誰がどのアンケートに回答したか分からないよう匿名化します。それまでは個人情報漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 試料・情報の保存、二次利用

本研究用で収集した情報は研究終了後1年間、岡山大学内でパスワード保護されたコンピュータ内部で厳重に保存させていただきます。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄しますなお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2020年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院

講師 松本洋輔

岡山大学病院ジェンダーセンター 電話 086-235-7242（平日 9:00-17:00）

ファックス 086-235-7246